

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サポートステーション みつばパーク				公表日	令和 8 年 3 月 3 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用定員に必要なスペースは十分に確保されており、活動内容に合わせて園庭やその他の活動スペースも活用しております。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員数は配置基準を十分に満たしており、専門職も配置しております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		室内はバリアフリーになっており、登降園の準備をする場所・活動をする場所などわかりやすく配置しております。	屋外からの段差解消には昇降機を設置し、安心安全に移動できるよう配慮しております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動終了後、使用したすべてのスペースや玩具等を清掃消毒し、清潔と感染症対策に努めております。	感染拡大防止のため、活動中は常に換気や高機能空気清浄機を使用し、こまめな消毒・除菌等を実施しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		気持ちの切り替えや個別の対応が必要な場合は、静養室や放デイ室を利用しております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		日々のミーティングの際、計画や振り返り等にて改善点の検討や情報共有に努めております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		送迎時や面談等でいただくご意見や事業所アンケートを踏まえ業務改善に努めております。	ハグを活用し保護者様との情報共有がスムーズになっていることから、引き続き広くご意見やご要望をうかがえるよう関係性の構築に努めてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月の職員会議や定期的な面談を実施し、意見交換や課題の検討を行い、業務改善に努めております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		現在第三者評価は受けておりませんが、地域にお住いの第三者委員を選任し、地域住民の立場からご意見をいただいております。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に外部講師を招いた職員研修や各種外部研修等にも積極的に参加しております。	研修受講者は研修報告書を作成し、全職員へ周知を図り全体の資質向上に努めております。	
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		法人の理念や支援方針に則り、細やかな支援プログラムを作成し、公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的にモニタリングやアセスメントを行い保護者様の意向や課題を計画に反映できるよう作成しております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全員でお子さまの特性や課題を話し合うケース会議や支援会議を行い、個別支援計画に反映しております。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		作成された個別支援計画に基づいて、お子さまの個性や特性に応じた活動や支援を統一して行っております。	お子さまの成長や課題に応じて、都度支援方法を検討し、計画に沿った統一した支援に努めてまいります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		お子さまに合わせた独自のアセスメントや円城寺式や標準化されたアセスメントツールを活用しております。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		定期的なモニタリングや支援会議を行い、お子さま一人一人に合わせた支援目標を検討し、計画に沿った具体的な内容の設定を行っております。	ご家庭や並行通園先での様子も把握し、お子さまが地域で安心して生活できるよう関係機関との連携を図り「家族支援・地域支援」にも力をいれてまいります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		年間行事や活動方針をもとに、計画リーダーを中心に全職員で活動内容の検討・準備を行っております。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		日々の活動の中に、季節や行事に合わせた遊びや活動を盛り込みながら内容を工夫しております。	遠足や日頃できない体験活動を行い、活動の幅を広げていきます。	

提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	○	お子さまの特性に合わせた、きめ細かな支援計画を作成し、必要時はマンツーマンの対応を行っております。	専門職による個別対応や合同での集団活動なども計画しております。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	○	リーダーを中心に支援の流れや内容、担当するお子さまの課題や目的等を確認しております。			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	○	ミーティングを通し振り返りや改善点を話し合い、次回に生かせるよう情報共有を図っております。	全職員での情報共有を図り、統一した支援ができるよう心掛けてまいります。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	○	ハグを活用し、療育日誌や個人記録を作成しており、振り返りや今後の支援に繋げられるよう情報共有に生かしております。			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	○	定期的なモニタリングやケース会議を行い、よりよい支援ができるよう内容の検討を行っております。			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	○	相談支援事業所の計画や保護者様からの聞き取りを基に、課題やニーズを取りまとめ、必要な支援項目を検討し設定しております。			
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	○	○	○	お子さまの自己肯定感を高め、自分の考えで行動できるように支援しております。会話のできないお子さまや身体の不自由なお子さまにも本人の意思を尊重する声かけを行い、自分で選んだ喜びを感じてもらえるような支援を心がけております。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	○	○	○	主に児童発達支援管理責任者が参加し、お子さまの特性に合わせ看護師や専門職が同席します。	関係機関と密に連携を図り、関わるみなさまと担当者会議が行えるよう努めてまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	○	○	○	協力医療機関との連携や関係機関連絡会議、研修等へ積極的に参加しています。	これからも保健センターとの情報共有や発達相談会、地域支援会議等へ積極的に参加し関係機関との連携を図ってまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	○	○	○	保護者様の了承を得たうえで年間行事予定等を把握し、利用予定や変更など連絡調整を密に行っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	○	○	○	お子様の就学時に作成された移行支援シートの情報提供をいただいたり、必要事項の聞き取りを行うなど情報共有に努めております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	○	○	○	保護者様や福祉サービス事業所の要望があればすぐに情報提供出来るよう準備しております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	○	○	○	センター主催の勉強会や研修会にも積極的に参加し、法人内の他事業所との交流や合同研修会なども実施しております。	公開療育や他事業所との活動内容検討会、意見交換会等へ積極的に参加したいと思っております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	○	○	○		同法人の児童発達支援事業所との交流や活動の場の機会を増やしていこうと計画しております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	○	○	○	同法人の相談支援専門員が積極的に参加しています。	相談支援専門員と共に職員も参加する機会を作っていきたいと思っております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	○	○	○	ハグを利用して日々の様子をお伝えしており、送迎時やお電話でもお子さまの様子や連絡事項等をお伝えしています。	ハグシステムの活用が浸透し、活動内容等をよりわかりやすくお伝えでき、保護者からも好評である。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	○	○	○	保護者会や保護者も参加できる研修会を開催し、ペアレントトレーニング等と一緒に学ぶ機会を作っています。	保護者様のニーズに沿った研修や必要な情報提供ができるよう更に体制を整えてまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	○	○	○	見学や契約の際に詳しく説明し、玄関にも提示していつでもご確認いただけるようにしております。	利用者負担額が発生する際は、わかりやすく丁寧に説明できるよう心掛けてまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	○	○	○	定期的なモニタリングだけでなく、保護者やお子さまの困りごとや課題を日頃から情報共有し個別支援計画に反映しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	○	○	○	作成した個別支援計画の課題や内容等保護者様に説明し、同意を得て交付しております。	総合的支援内容を提供することを基本とし、5領域とのつながりを明確化した計画のもとに支援してまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	○	○	○	定期的なモニタリングだけではなく、いつでも相談をお受けできる体制を整えております。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		お子さまの行事にあわせて保護者会を開催し、活動への参加や保護者同士の交流の機会を作っています。	事業所合同での行事や遠足、保護者会や研修会を積極的に開催しています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情相談窓口、解決責任者を選任しており、いつでも気軽にご相談いただけるようお伝えしております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ハグシステムにて行事計画や活動内容、お子さまの活動の様子など写真も添えてお知らせしております。	お子さまの活動の様子やお知らせなど、より分かりやすく迅速にお伝えできるようになりました。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員一同規則に従い、十分に配慮しながら管理運用しております。	年度ごとに保護者様の意向調査を実施し、またシステムの運用にあたってはより注意を払っております。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		コミュニケーションツールとして絵カード等の活用や視覚支援を行っております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		秋祭りやチャリティーイベントを開催し、誰でも参加できる活動を行っております。	少しずつ規模を拡大しながら、参加されるみなさんが楽しめる企画をご案内できるよう検討しております。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを職員全員で周知徹底し、感染症対策については法人の判断基準等、その都度保護者様にも文書でお伝えしております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		消防署との非常災害訓練や自主避難訓練、消防設備点検等定期的に行っております。	職員一同あらゆる災害等に対応できるよう日頃から危機管理意識を高め、BCPの検討や訓練をしております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		看護師や専門職を配置し、お子さまの既往歴や投薬状況、緊急時の対応など把握しております。	保護者様を通じて主治医や専門職と連携を図り、緊急時の対応や活動内容の意見交換等を行っております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		現在アレルギーのあるお子様については、事前に献立をお知らせし保護者様のご意向をうかがったうえで対応しております。	引き続き委託している給食業者のメニュー内容や金額などの情報を提供し、保護者様のご意向をおうかがいしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		整備された安全計画に基づいて研修や訓練を行い、職員全体に周知しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急時のマニュアルに沿って対応しています。ご家族には緊急時のSOSシートを作成していただき、必要時にすぐ確認できるよう管理しております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが発生した際は、当事者が報告書を作成し、全職員で再発防止・対応策を検討し共有しております。	小さな気づきも職員で共有し、ヒヤリハットや事故が発生しないよう努めます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		権利擁護、虐待防止等の研修に参加し、全職員にて研修内容の周知や検討会を実施しております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約の際、やむを得ない場合の身体拘束事由などを十分に説明し、同意書の作成承諾を得ております。	お子さまの生命や安全確保のため、どのような場合にやむを得ず身体拘束が必要になるかなど検討し、適切な対応ができるよう全職員で周知しております。	